地域への期待
障害のある人とない人が、互いを正しく理解し、共に助け合い、支え合っていく社会の実現

家庭との連携
・卒業後の生活を見据えて、生きる力（自立と社会参加）を育む教育の充実
・育友会活動の充実

福井大学附属学園第3期中期目標・中期計画における附属学園スクールプランに基づいた教育実践の実現

本校の使命
○知的障害教育校としての使命
○教育実習校としての使命
○研究開発校としての使命
○教員研修校としての使命

〈本校の教育方針〉
一人一人に合わせた教育
小・中・高一貫した教育
関係機関と連携した教育
〈本校の教育目標〉
●心身共に健やかな子を育てる
●生活に必要な基礎的能力を養う
●はたらく喜びをもつ子を育てる

**研究テーマ「子ども・大人が協働する学校生活づくり
～学びのつながりに焦点を当てて～」**
[目指す子どもの姿]
・主体的に活動する子
・人とのつながりの中で活動する子
・やりがいを持って活動する子
[目的]
・「生活教育」での授業の組み立て方を明らかにしていく
・「生活教育」における学部間の学びのつながりを明らかにしていく
・教育研究集会の開催（開催日：平成30年11月16日（金））

		1 教育課程・生活教育	2 生徒指導・保健教育	3 進路指導・キャリア教育	4 教育相談・センター的機能	5 地域交流・インクルーシブ教育
重点目標	全校	児童生徒のニーズや社会の変化から生活教育の在り方を考え、教育課程及び授業の改善に取り組む。	児童生徒が安心・安全な環境の中で、健康で生き生きとした生活を送ることができるように支援する。	関係機関と連携し、キャリア教育の視点で小学部からの進路指導の充実を図るとともに、卒業後の支援に積極的に取り組む。	校内の教育相談体制の充実を図るとともに、附属学園や地域のニーズに応じたセンター的機能の充実を図る。	児童生徒が附属学園を含む地域社会の中で、様々な人と関わりながら生き生きと活動できるように支援する。
	小学部	「のびのびタイム」の授業研究を通して授業を改善し、児童一人一人の主体性を育む「クラス活動」の授業実践に取り組む。	健康・安全・衛生について季節や行事と関連付けながら日々の生活指導の充実を図る。	基本的な生活習慣の確立を目指すとともに、人と関わる楽しさや適切な関わり方を学べるよう支援する。	児童や保護者の思いを受けとめながら、児童の良さや将来の見通しを保護者と共有し、共に支援する。	居住地校交流や近隣の小学校との学校間交流を通して、同世代の児童との交流を深めるとともに、地域への理解啓発を図る。
	中学部	個別学習、クラスくらし、グループくらしなど、個に応じた様々な集団編制での授業実践に取り組む。	家庭と連携した安全学習・指導を行う。また、自分の体や心の変化を受け入れられるよう、ニーズに合わせた保健学習を実施する。	2年生からの体験実習を行い職業への関心を高め、グループくらしを通して「働く」ことへのイメージを持たせるよう支援する。	心の相談会を、個々のニーズに応じて実施し、本人や保護者にフィードバックする。	年間計画を基に、地域や学園との交流及び共同学習、大学教員を活用した教育活動の充実を図る。
	高等部	「オープンクラス生活」で培った力を、クラス活動や「仕事」、家庭生活などの場で生徒が生かす姿を捉え授業実践に取り組む。	健やかな心身の維持・増進を図り、社会人としてのマナー、他者を意識した適切な行動の仕方を身に付けられるように支援する。	生徒のニーズに応じた進路学習及び現場実習を通して、自己理解を進め、本人が適切に進路を決定できるように支援する。	本人、家庭、地域におけるさまざまな課題を整理し、生徒や保護者の思いを受け止め、卒業後の豊かな生活につなげる。	販売活動や教育活動を通じた交流などで、地域の人々との交流を深め、社会参加への意識を高めるとともに地域への理解啓発を図る。
重 取 り 組 む こ と		☐ 研究テーマに沿った授業づくり ・授業研究会 各学部3回 ・縦割り事例研究 5回 ☐ ICTの活用に向けた環境整備 ・研修会 2回	☐ 危機管理マニュアルの確認と共通理解 ☐ 登下校の安全指導の実施 ☐ 掲示物による食育の充実 ☐ ニーズ(実態)に応じた性指導	☐ 相談支援専門員や専門機関とのケース会議による支援の共有 ☐ 進路(企業や事業所)や余暇活動の場の開拓と保護者への情報提供	☐ 保護者対象の教育相談会の開設と利用の促進	☐ 啓発・広報活動の充実 ・新たなHPの展開 ☐ 地域に開かれた研修の推進 ・研修会 2回